

外観



古来より熊野古道の玄関口として、「口熊野」と呼ばれ親しまれてきた地に、2015年、道の駅「くちくまの」オープン。紀伊半島周辺の観光地域の中継点として、世界遺産「熊野古道」の観光案内も行っている。

女性トイレ 洗面コーナー



洗面カウンターは、透明感があり見た目にもさわやかなクリスタルカウンターを採用。小さなお子様が使いやすいように、洗面器の1ヶ所は低めに設置している。

男性トイレ 大便器ブース



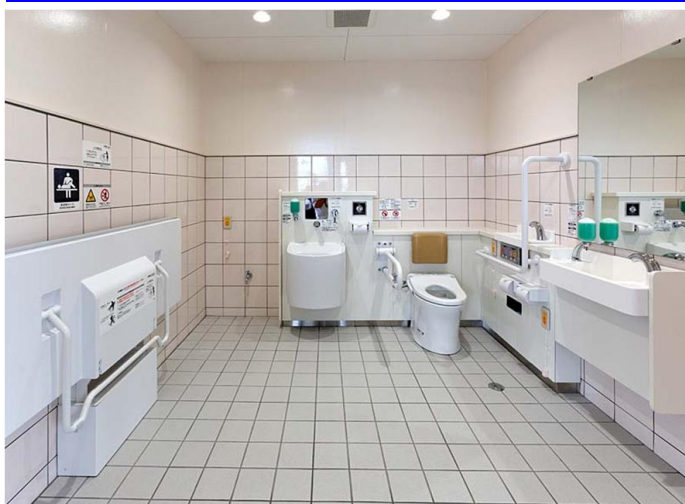
男女トイレとも小さなお子様連れに配慮して、1ヶ所の大便器ブースにベビーチェアを設置している。

男性トイレ 小便器コーナー



小便器は床の清掃性に優れ、小さなお子様から大人まで使いやすい壁掛式の低リップタイプ小便器を採用。

多機能トイレ



車いす使用者やオストメイトの方などさまざまな使用者に配慮して、オストメイト対応トイレパックや収納式多目的シートを備えた多機能トイレ。

建築概要・施設の概要・水まわりの特長

名 称 道の駅くちくまの
所 在 地 和歌山県西牟婁郡上富田町岩崎555-5
施 主 上富田町
竣工年月 2015年8月

<施設の概要>

道の駅くちくまのは、熊野古道(中辺路街道・大辺道街道)の入口として、古くから口熊野と呼ばれ親しまれてきた上富田町にオープン。熊野詣に訪れる人や白浜の海水浴を満喫した家族連れの憩いの場になっている。

<トイレの特長>

「和歌山の思い出を締めくくる場所だから、トイレでも気持ちよく過ごしてほしい」という駅長の思いもあり、清潔で衛生的なトイレ空間を実現。小さなお子様連れに配慮して、女性トイレ、男性用トイレともにベビーチェアを設置。また、車いす使用者やオストメイトに配慮した多機能トイレを設置している。光をやさしく透過する素材の洗面カウンターは女性客に好評を得ている。